



ゾンビになってしまった少女 ユリナ

世界にゾンビウイルスが蔓延し  
ゾンビが優勢となった時代  
他のゾンビに噛まれることによって  
ゾンビウイルスに感染してしまった少女  
体は腐りかけているが  
自分の細胞が破壊されていくことに  
快感を覚えていた。

体が腐りかけ感覚が鈍っていたユリナだが、自分の体からウジが湧いているのを見つけた。

「うっこんなところからウジ……  
いよいよヤバイかも……」



体の中からウジが  
沸くが痛みはない……

「んっ♡  
なんかむしろ気持ちいいの……  
なんで……」



体のいたるところから  
ウジが沸き始めるが  
依然として痛みはない。

「やっ♡  
なんでこんな…  
てか、いつ私の体に寄生したの…」



ボロボロのブラは脱げ落ち  
ユリナの大きな胸があらわになる。

「やん♡あつんっ♡  
ま、丸見え……  
やっぱり皮膚感じやすいかも……♡」



ついに  
大きく実ったユリナの胸からも  
ウジが沸き始めた……。

「んっ……♡  
胸の中から愛撫されてるみたい……  
味わったことない……んっ♡」



ゾンビにしろでは  
まだ血色の良い乳首を  
ウジ虫の移動で  
ゆっくらと愛撫させるトロナ

「あっ♡すざい！  
乳首の先そんな群がっちや……♡  
私そこ敏感！あんっ♡」



ウジはだんだんと増えていき  
両乳首の快感で  
体がビクンビクンと跳ねる

「ヌルヌルで凄いらっくわっ  
乳首気持ちいいよぉ……♡♡♡」





乳輪をさして乳首を  
丹念に愛撫するウンゼン虫  
数はさらに増え  
ユリナの感度もどんどんアップアップ  
へん

「多いよぉ~~~~♡  
はうっ♡それに  
さっきから敏感なとこ  
ばっかり……んっ♡あっ♡」



体と敏感な場所への愛撫によって  
ユリナのパンツが  
ジワツツと湿ってきてきた

「あんっ……♡  
体やっぱりおかし……♡  
こんなに濡れて……♡」



容赦無く続くウジ虫の愛撫はついに  
ユリナの愛液まみれのパンツにまで到達し  
その瞬間ユリナの体はビクンと脈を打った

「あっああああんっっっ  
そっダメッッッッッ♡♡」



パンツの上からとはいえ  
一番敏感な部分の愛撫は  
ユリナの足までブルブルと震わせた

「私の愛液美味しいの？  
あ、足……ビクビクしちゃっ……♡  
あっ♡んっ♡」



やがて愛液の重さで  
ボロボロのパンツがホロっと落ち  
ユリナの大事な部分が丸見えになった

「んっくっ♡やだっ！  
こんな体になっても丸出しは  
恥ずかしいよぉ…♡」



ズンズンと化しても羞恥心は  
変わらずあり  
それがまた刺激となつて  
さらに愛液が溢れだす。

「あっ♡垂れる…っ♡  
愛液とまらないいいいい…っ」



そして次第に生おまの口で  
集まり始めるワジ

「あっあああっ~~~~♡  
凄いい刺激強いいいいい!  
すぐイッちゃうよば♡」



「イクイクイクイク  
ウジにイカされちゃウジにイカされちゃ♡♡

先の愛撫で火照った体は  
生おま○ごへのちよつとした刺激で  
絶頂を迎える。





絶頂の余韻に浸る間もなく  
ウジはおま○ごへの愛撫をやめない

「ダメツッ！そこばかり  
刺激したらまたすぐ  
イッちゃうからああす♡」



さらにおまのうは  
群がるウジの量は増える

「またイクッ！イクイクイクッ！  
連続でイッちゃっっっっっっっっ」





ついでにウズはおまのこの中に侵入

「あっ♡そっちだめっ!  
中までされたら  
頭おかしくなるっ♡」



「イイイっ  
中もいいのおおお！  
気持ちいいのおお♡」

瞳の奥まで侵入され  
ウジが動きたび  
体がビクビクと跳ねた



「に、逃げられない……だめえ  
気持ちいいいいいい♡」

お尻をくっつけてお尻をくっつけて



体全体で愛撫を  
受け止めるかのふんぞり尻をたぐりおのふんぞり

「も、もつとして…  
もつと気持ちよくなりたい！  
もつとお♡」



乳首と尻はまの目のようにリアルとマジは活発に動きます

「あああいのぉー！  
私の体犯してえええ  
もうどうなってもいのぉ♡」





「あひ♡やいやいやいー  
そいも♡ううたえ!  
も♡うメメメ♡たえ!♡」

ク  
レ  
ビ  
ス  
を  
擦  
ら  
れ  
思  
お  
ほ  
し  
絶  
え  
ら  
な  
い  
ハ  
ハ



「イクッ！イクイク！  
またイク！  
クリウジに愛撫されて  
イツちゃうっっっっっ♡」



イツた後も敏感な豆を  
クリクリと犯すウジ虫

「ああ気持ちいい♡  
みんなの知らない♡」





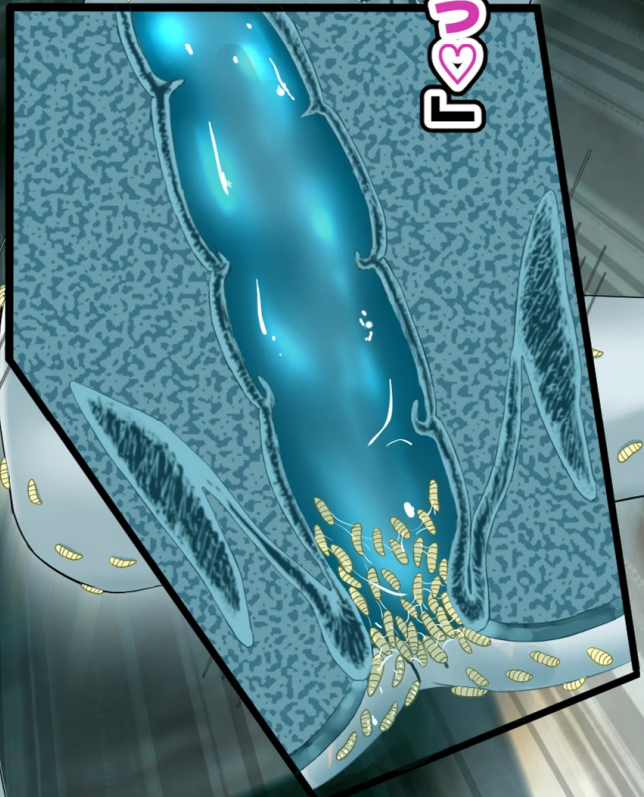
「お、お尻もいい！  
気持ちいいよお！  
お尻でイッちゃう♡♡イクイク♡♡」

そしてアナルの奥々まで  
侵入するウジ虫  
腸の中でウネウネと  
愛撫する



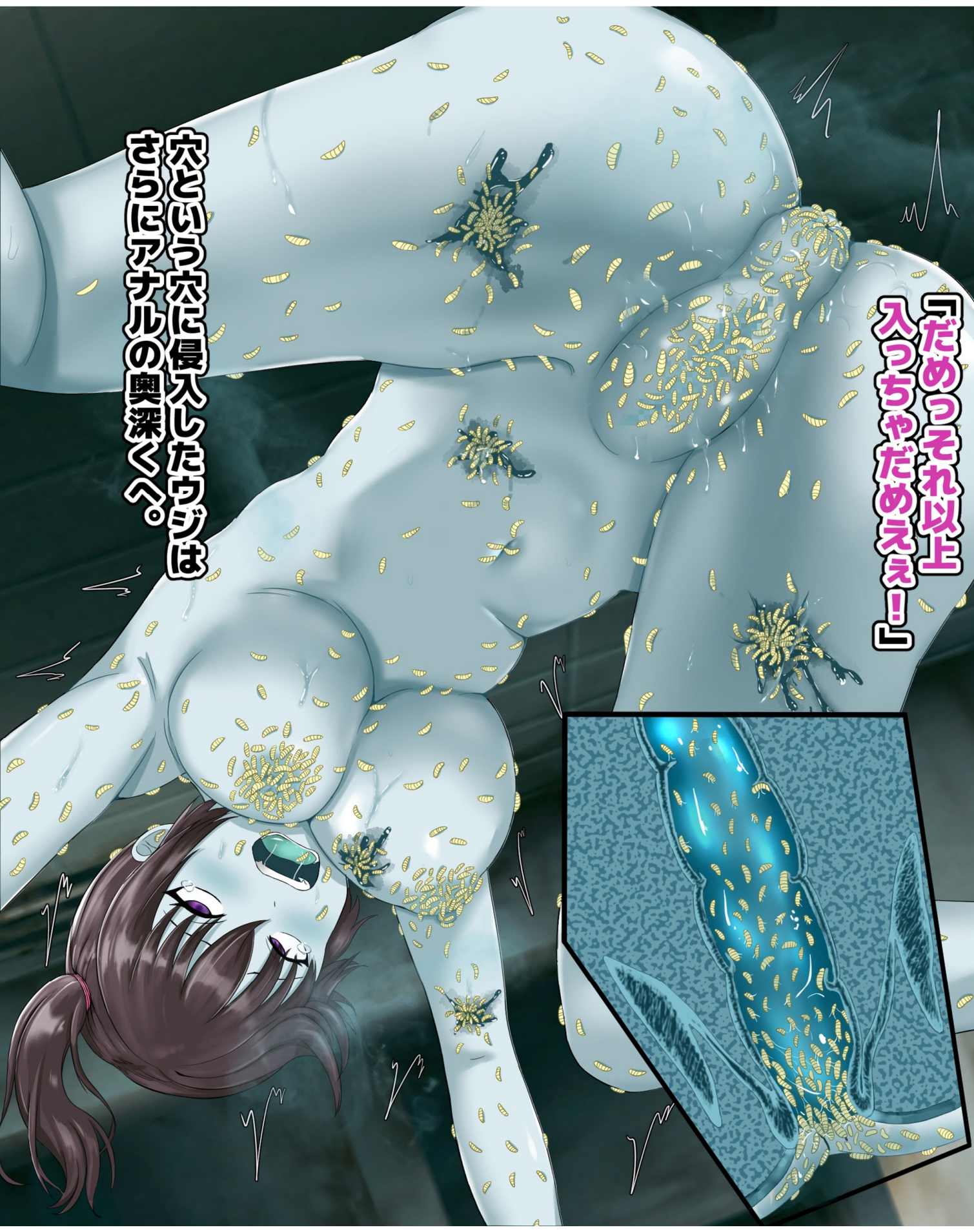
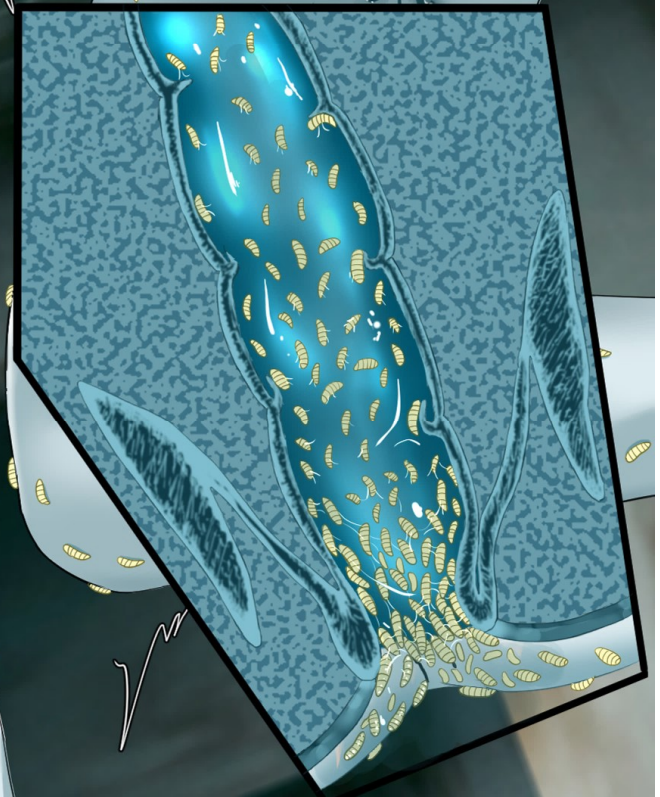
人生初めてのアナナルで  
絶頂するユリナ

「イクウウウウウウウ♡  
お尻気持ちいいよお！  
イクイクイクウウウウウ♡」



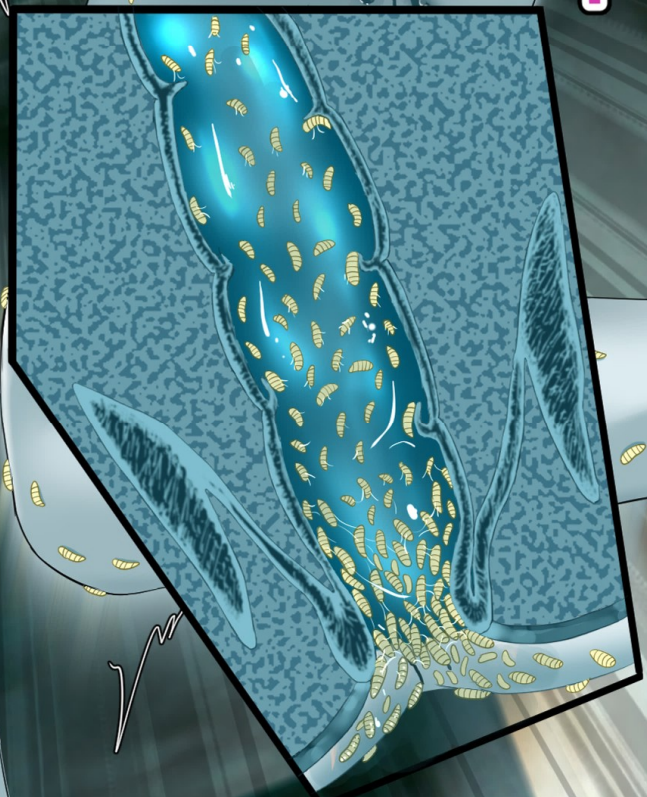
「だめっそれ以上  
入っちゃだめええ！」

穴という穴に侵入したウジは  
さらにアナルの奥深くへ。



「イクイクイクイクウウウウー！  
体中犯されて  
イツちゃううううー！」

もはや苦痛なのか快感なのか  
解らずとにかく絶頂を繰り返すユリナ  
この後しばらくして失神してしまった……。



蝶の子を孕みたい女 ナナコ

蝶が大好きで蝶との交尾に憧れるナナコは世にも珍しい巨大蝶の島へやってきた。







「はあ♡はあ♡  
もう興奮してきちゃった……♡」

蝶が大好きで  
蝶どの交尾に憧れるナナコは  
世にも珍しい  
巨大蝶の島へやってきた。

「チヨウチヨさん私の体で満足してくれるかな  
……はあ♡」

これから起こる蝶との交尾を妄想しながらまっナナコ体が火照り汗ばんでいる。





「チヨウウチヨさん来て...」  
私を犯して...」

興奮のせい  
妄想が捗っ  
てているの  
か  
ナナコの  
パンツは  
すでにジワ  
りと濡れて  
いた



「あつきたきたつ♡  
もいんらん「寝らんNo...」  
♡♡♡」

奈那子のアソコから  
放たれるメスのにおいが  
苗床として魅力的だったのが  
一匹の蝶が寄ってきた。

蝶はアタリを  
警戒しながらゆっくらと  
卵管を伸ばしてきました。

「あっ♡これが私の中に...  
早く欲しい...」



ナナコは急いで  
愛液でビチヨビチヨになった  
パンツを脱ぐ

「もーいーくんなになっとなーん……♡……♡……私変態すぎ……♡……」



蝶はおまのこの状態を  
確かめるように  
ワレメに卵管を沿わせる。

「あっんっ♡  
イイ！ヌルヌルしてる！  
焦らさない…っ♡」



「あつ♡  
え？ナニコレ…  
何か這ってる…」

蝶の卵管はワーム状の寄生虫に  
寄生されており  
ナニコレのおまじないを刺激してさら





胴体から卵管が伸びる度  
中から寄生虫が飛び出してくる。

「ああもういいい...  
なんでもいいから  
早く突っ込んで欲しい♡」



女漁師

シズナ

村一番の漁師シズナは  
村周辺で一番といわれているヌシとの  
格闘の末、無事釣り上げたが  
疲れきってその場で眠ってしまった。

妊婦

リナ

とある異世界の村人  
リナはなかなか子供が出来なかつたが  
夜の営みを積極的に増やし  
やっと妊娠したようだった。





火傷を負った少女 リコ

リコは幼い頃  
火事によって体中にヤケドを負った。  
それが原因で学校でもいじめを受けていた。



蟲の卵や幼虫が子宮やアナルにミチミチの

断面図満載！

